

平成28年度太陽とみどりの里事業報告(総括分)

国から示してきた社会福祉法人改革に向け、移行への取り組みを進めて行く年度であった。法人運営にも抜本的な変化が求められ、法人組織を含め定款等の改正作業を通年的に進めて行った。事業については介護報酬改定2年目であったが、在宅事業の中止間地エリアの利用者減があり介護報酬収入全体を見ても厳しいものがあった。介護保険施行以来15年以上経過し地域での世帯像の変化もあり今後住民ニーズそのものの動向を注視していく必要がある。

項目	実施計画	実施状況
1.社会福祉法人制度改革に向け移行の取り組み ①組織経営ガバナンスの強化 ②財務規律の強化 ③地域における公益取組の継続	①社会福祉法の一部改正に伴う定款・規程の改正及び制定 議決機関としての評議員の選任 ②内部留保の明確化と中長期計画の作成 ③公益的な取組み及び地域支援事業への検討	定款・定款細則・役員等報酬規程・評議員選任・解任委員会・評議員会運営規定・理事会運営規定・組織管理規則等の一部改正及び制定を行った。評議員についても選任を行った。 社会福祉充実残高の控除額等が年度末まで確定がずれ込み、結果として社会福祉充実残額は発生しなかつたが、時間的な制約の中で中長期計画策定まで至らなかつた。 引き続き社会福祉法人連絡会に参画し、相談事業・低所得者対策等の事業を社会福祉法人共同で実施した。「地域支援事業」については安来市では平成29年度大きく変わった事業は行われず現況事業の継続とした。
2. 人材確保対策	①通年的な募集と修学資金活用による人材確保 ②職員の待遇改善と資質の向上	①島根総合福祉専門学校へ修学資金貸付者1名通学、同学校へ職員身分で1名が通学中。新卒者の応募者が3名(内専門学校2、高校1)あつた。28年中の採用者数は17名で、退職者は16名であった。全体でみると均衡を保っているが応募者の動向は減少感を感じる。 ②待遇改善 対遇改善加算Ⅰを引き続き取得適用。正規職員登用2名行う。
3. 指定管理施設及び借受施設の設備整備	①設備更新等市との協議	なごみエレベーター水抜き工事施工。市とは空調設備更新、尼子苑LED化等協議してきたが予算措置までは至らなかつた。
4. 事業について	①比田ディサービスセンターの地域密着型施設への移行。	平成28年4月1日より地域密着型ディサービスに移行。1日の利用者数平均が18人以下であり、1人当たりの介護給付費が普通型に比べ高いため移行した。
5. 法人設立20周年事業について	①準備会を設置し事業内容を検討する。	部門ごとに4つの専門部を組織し検討を行い全体会で調整の上計画を進めてきた。

平成28年度 事業報告書

法人事務局

【総括】

社会福祉法の一部改正に伴う社会福祉法人制度改革改革が正念場を迎える、定款の変更をはじめとして、細則、規則、規程の改正を行い、移行作業を行った。これに伴い、評議員選任（解任）委員会を設置して新評議員選任を行った。

介護人材確保については、通年的な職業安定所（ハローワーク）による募集と近隣の高校や専門学校への新卒者募集訪問、当法人の修学資金貸与規程による貸付などにより新卒者3名の確保を図ることができた。

また、介護支援専門員（ケアマネージャー）の確保は難しく、比田介護支援室を平成29年3月末日で廃止し、在宅介護支援センターひろせに統合し、集中管理を行うことにした。

福利厚生面では、労働安全衛生法の改正により義務付けられたストレスチェックを初めて実施し、メンタルヘルスの向上を図った。（実施率：61%）

また、育児介護休業法、男女雇用機会均等法が改正されたことに伴い、就業規則を始めとして所要の改正を行った。

法人創設20周年記念事業については、準備委員会（委員長：太田事務局長）を組織して、専門部（記念式典部、記念イベント部、記念誌編纂部、レセプション部）毎に会議を重ね、全体会で調整して次のとおり実施計画を策定した。

期日：平成29年11月26日（日）

会場：広瀬町中央交流センター（中央公民館）

1. 法人運営

① 役員会等の開催状況

- | | | |
|---------------|------|------------------------------------|
| ・理事会 | 6回開催 | (5/26 8/25 10/26 11/22 12/22 3/28) |
| ・評議員会 | 4回開催 | (5/26 10/26 12/22 3/28) |
| ・評議員選任（解任）委員会 | 1回開催 | (2/8) |
| ・監査会 | 2回開催 | (5/18 11/9) |
| ・内部経理監査会 | 1回開催 | (1/26) |

② 研修関係

- ・社会福祉法人経営者セミナー：理事1～2名 (11/18 2/22)
- ・社会福祉法人監事研修会：監事2名 (2/10)
- ・会計研修会 財務管理、ストレスチェック他：事務局職員

③ その他

- ・人事考課の実施（正規職員・契約職員）2名を正職員に登用
- ・情報開示 <機関紙発行：2回> *7月・12月 ホームページに掲載
- ・法人内定例会 毎月第3水曜日 12回開催
- ・「島根安全ドライブコンテスト2016」へ30チーム90名が参加

2. 組織整備・管理

- ・定款変更、同細則改正
- ・組織管理規則の一部改定
- ・就業規則の一部改定
- ・安全衛生管理規程の一部改定
- ・ストレスチェック実施規程の制定
- ・評議員選任（解任）委員会の運営に関する規定の制定
- ・育児介護休業等に関する規程の一部改正 他

3. 介護事業運営・公益的取組

- ・比田ディサービスセンターを地域密着型ディサービスに移行（H29.4.1～）
定員変更 25名→18名
- ・安来市社会福祉法人連絡会（安来地域内9法人）による公益的取組に参画
- ・イメージキャラクター＆キャッチコピーの普及
「げんきくん」ノートの作成配布 1,000部印刷

4. 介護人材確保・能力開発

- ・新規採用者（高校卒、専門学校卒）3名採用
- ・介護福祉士養成修学資金貸与／新規1名 繼続1名
- ・法人職員研修 2回開催（8/10 8/18）「人権同和」「援助に有効なコミュニケーション」
- ・処遇改善交付金（介護職員）の活用／定期昇給の引き上げ、一時金支給

5. 施設整備関係（主なもの）

- ・清拭車の購入 1台（尼子苑） 約26万円（税込）
- ・ガステーブルの購入 1台（尼子苑） 約25万円（税込）

【収支状況】（財務諸表等は別冊の決算書のとおり）

【職員状況】（平成29年3月末現在）

- ・正規職員：49名 契約職員：34名 パート職員：57名 登録職員：11名
- 合計 151名

平成28年度理事会・評議員会・監査会等に関する事項

○理事会に関する事項

開催日	出席数	議案等	結果
平成28年5月26日	7名	第1号議案 第2号議案 第3号議案	平成27年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について 安全衛生管理規程の改正について ストレスチェック実施規程の制定について
平成28年8月25日	6名	○協議事項	1) 定款の全部改正について 2) 定款細則の全部改正について 3) 役員等報酬規程の全部改正について 4) 評議員選定・解任委員会設置運営規則の制定について 5) 法人創設20周年記念事業について 6) 表彰規程の制定について 7) 安全衛生管理規程の一部改正について 8) 次回の理事会・評議員会の開催について
平成28年10月26日	6名	第1号議案 第2号議案 第3号議案	安全衛生管理規程の一部改正について 理事長の職員兼務の解除に伴う報酬額の変更について 平成28年度第1次補正予算(案)について
平成28年11月22日	6名	○協議事項	1) 定款及び定款細則の全部改正について 2) 役員、評議員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の全部改正について 3) 評議員選任・解任委員会運営規程の制定について 4) 評議員選任・解任委員会委員の選考について 5) 新評議員の選考について 6) 新理事・監事の選考について 7) 評議員会運営規程の制定について 8) 理事会運営規程の制定について 9) 表彰規程の制定について 10) 次回の理事会・評議員会の開催について
平成28年12月22日	7名	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案	定款変更認可申請について 評議員選任・解任委員会の運営に関する規定の制定について -2 評議員選任・解任委員会委員の選任について -3 評議員選任・解任委員会の招集について -4 評議員候補者の推薦について 就業規則の一部改正について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 組織管理規則の一部改正について 平成28年度第2次補正予算(案)について
平成29年3月28日	7名	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案	定款細則の全部改正について 評議員会運営規程の制定について 理事会運営規程の制定について 表彰規程の制定について 第4次補正予算(案)について 記念事業積立金の取崩しについて 平成29年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)について

承認
承認

○評議員会に関する事項

開催日	出席数	議案等	結果
平成28年 5月26日	15名	第1号議案 第2号議案 第3号議案	平成27年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について 安全衛生管理規程の改正について ストレスチェック実施規程の制定について
平成28年 10月26日	15名	第1号議案 第2号議案 第3号議案	平成28年度第1次補正予算(案)について 安全衛生管理規程の一部改正について 理事長の職員業務の解除に伴う報酬額の変更について
平成28年 12月22日	16名	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案	定款変更認可申請について 評議員選任・解任委員会の運営に関する規定の制定について 就業規則の一部改正について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 組織管理規則の一部改正について
平成29年 3月28日	16名	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案	定期細則の全部改正について 評議員会運営規程の制定について 理事会運営規程の制定について 表彰規程の制定について 第3次補正予算(案)について 記念事業積立金の取崩しについて 平成28年度第2次補正予算(案)について

○監査会に関する事項

開催日	出席数	議案等
平成28年 5月19日	2名	1) 平成27年度事業及び決算監査 2) 理事の業務執行状況
平成28年 11月11日	2名	1) 平成28年度上半期事業及び中間決算監査 2) 理事の業務執行状況
平成29年 1月26日	2名	1) 法人内経理事務管理についての監査

○評議員選任・解任委員会に関する事項

開催日	出席数	議案等
平成29年 2月8日	5名	1) 委員長の選任について 2) 評議員の選任について

平成28年度 事業報告書

事業所名 尼子苑

目 標	事 業 計 画	実 施 状 況
重点目標	<p>①利用者一人ひとりの人権を尊重し個々の思いやニーズが実現できるよう支援しサービスの質の向上に繋げる。</p> <p>②職員の資質向上と専門的知識習得のため研修等に積極的に参加し資格取得に取り組む。</p> <p>③実習生やボランティア等の受け入れを積極的に行い地域交流に繋げる。</p> <p>④関係機関等との連携を密に行い信頼関係を深める。</p>	<p>○全職員を対象に人権について研修を行い、言葉づかいや接遇など日々の業務に生かした。また、食事・入浴・排泄・行事などケア担当検討委員会を定期的に開催しサービスの質の向上に繋げた。</p> <p>○医行為に関する吸痰研修に参加し資格取得に取り組んだ(8名)</p> <p>○研修医(2名)や福祉専門学校の実習(8名)、職業訓練センターの実習(1名)、高校生の体験学習(2名)など積極的に受け入れた。保育園との交流や抹茶ボランティアなど定期的に受け入れ交流に努めた。</p> <p>○老人保健施設や療養型医療施設、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等を訪問し情報交換に努めた。</p>
サービス目標	<p>①利用者個々の状況にあつた外出援助や離床を積極的に行い単調になりがちな生活に変化をつけ楽しみのある生活ができるよう努める。</p> <p>②苑内行事や季節ごとの行事に利用者が全員参加できるよう努める。</p> <p>③バイキングやセレクト食・誕生食など選んで食べる機会を増やし、食べる楽しみを満喫できるよう努める。</p> <p>④事故の防止及び適切な緊急対応を行い安全に安心して生活できる快適な場の提供に努める。</p> <p>⑤利用者の健康状態の把握に努め異常の早期発見・早期治療に努め、感染症の予防及び対策を徹底する。</p> <p>⑥苑内外の研修に積極的に参加し資格取得及び認定の取得に取り組む。また、接遇研修や階層別研修などに参加し全職員が各々の立場で役割を果たす。</p> <p>⑧協力病院や各関係機関との連携を密に行い信頼関係を深める。</p>	<p>○半年に1回、本人・家族と面談し情報交換を行った。意向確認を行い外出に向けて個別援助に繋げることができた。</p> <p>○地域の行事や自宅への外出援助、ショッピングや外食、ドライブなど計画的に実施できた。年間80名の外出援助を行い利用者に喜んでもらった。</p> <p>○毎月2回定期的にバイキングやセレクト食を実施した。お刺身バイキングや煮しめバイキング、おでんバイキングやクリスマス10種類バイキングは好評だった。毎月、誕生食を提供しお祝い膳として昼食時に味わってもらった。メニューは全て誕生者の希望を取り入れた。利用者に献立作成に参加してもらい喜ばれた。</p> <p>○利用者の日々の健康状態を観察し主治医との連携を図り、病状の悪化防止に繋げた。感染症予防の取り組みの一つとして廊下の手すりやドアノブ等の消毒を徹底した。ノロウイルスやインフルエンザの予防に繋げることができた(感染者0名)。インシデントレポートを積極的に記入し事故防止に繋がるよう職員の意識改革に努めた。</p> <p>○医行為に関する吸痰研修を受講し資格取得できた(8名)。毎月1回定期的に苑内研修を行い人権や認知症ケア、介護事故防止、介護技術等々について学んだ。施設外研修は県老施協を中心に參加した(36名)。</p>

能力開発目標	<p>①研修等に積極的に参加し自己研鑽に努め、全職員が各自の立場で役割を認識し能力の向上を図る。</p> <p>②事故報告やインシデント報告等の活用により事故の状況把握・分析・検証し再発防止能力の向上を図る。</p> <p>③職員間のコミュニケーションとチームワークにより明るい職場づくりに努力する。</p>	<p>○人権・コミュニケーション、防犯研修、虐待、認知症、介護技術など研修を実施した。また、各ケア検討チームを中心に定期的に話し合いを行いサービスの質の向上に繋げた。専門の業者を招き、リスクマネジメント・危険予知研修を行い事故防止に繋げた。</p> <p>○インシデント報告書を積極的に記入できるよう、職員会議や日々のミーティングを利用して「気づきの視点」について意識を高めるよう努力した。</p> <p>○全職員を対象に人権について学び差別解消などについて意識を高めた。また、挨拶や言葉づかいなどミーティングを利用して練習を行い明るい職場づくりに努めた。</p>
地域目標	<p>①保育園、中学校との交流や実習生・ボランティアなどの受け入れを積極的に行い地域との関係を密にする。</p> <p>②地域の行事等に積極的に参加し地域住民との交流を図る。</p>	<p>○毎月1回定期的にひろせ保育園の訪問があり、園児とふれ合うことができた。また、婦人会による抹茶ボランティアを月1回定期的に受け入れた。大正琴や民謡などボランティアの受け入れを行い交流の輪が広がった。研修医(2名)や福祉専門学校の実習(8名)、職業訓練センターの実習(1名)、高校生のボランティア体験学習(2名)など受け入れができた。</p> <p>○お雛祭りや恵比須祭りなど町内の行事に出かけ地域の方と交流できた。祇園祭神輿の巡幸がありお参りできた。</p> <p>○9月に尼子苑敬老会を開催し家族の参加が91名あった。また、尼子太鼓や大正琴、家族による演歌など地域の方々の協力があり盛大に実施できた。</p>
業務目標	<p>①長期入所については定員82名。稼働率98%を目標とする。</p> <p>②短期入所については定員8名。稼働率90%以上を目標とする。</p>	<p>○長期入所については、年間延べ29, 326人、月平均約81.46人、稼働率97.99%の実績だった。目標に僅かに達しなかったが前年度に比べ稼働率1.53%上昇した。</p> <p>○短期入所については、年間延べ2, 509人、1日平均約6.96人、稼働率 86.0%の実績だった。年度前半複数の利用者が他施設に入所されたため実績が伸びなかった。</p>

平成28年度 事業報告書

事業所名 太陽デイサービス

目標	事業計画	実施状況
重点目標	利用者の在宅生活が少しでも長く維持出来るよう援助し、中重度の方も可能な限り在宅生活が過ごせるよう援助する。	・日常生活動作の見守りや助言等を行い、在宅生活が維持出来るよう支援を行った。
サービス目標	残存機能を見極め生活機能の維持・回復に努める。 楽しみを持って出かけていただくために外出支援や趣味活動など意欲向上のプログラムを提供する。	・残存機能の活かし、生活機能の維持に努めた。 ・外出の機会を増やしたり、季節の行事を取り入れ、季節感を感じていただいた。(資料1参照)
能力開発目標	研修に参加し職員の専門性を高めスキルアップに努める。 資格取得に努める。	・外部研修に参加、内部研修を実施する。(資料2参照) ・資格取得はなかった。
地域目標	ボランティアの受け入れを行い、地域との関わりを深める。 地域の方も参加出来る「デイサービス祭り」を実施する。	・抹茶、大正琴、習字、陶芸、笹巻き、コーラス、民舞、ホルン演奏、ギター演奏や歌等のボランティアを受け入れた。 ・9月4日デイサービス祭りを開催した。利用者、利用者家族、地域の方々総勢132名の方に来場していただいた。
業務目標	1日平均23名の利用 稼働率85%を目指す。 ケアマネージャーと情報交換を行い、利用者のニーズに合わせたサービス提供をする。 柔軟な対応が出来る体制を作る。 新規利用者の受け入れを行う。	・1日の平均利用者は19名、稼働率は76%で、目標には達しなかった。 ・ケアマネージャーと情報交換を行った。ニーズに合わせたサービス提供の努力した。 ・家族・利用者・ケアマネージャーからの急な依頼も対応した。 ・職員体制が整わず、新規の受け入れを一時断ってしまった。(資料3参照) ・新規の受け入れ13名

<資料1>

各種行事・外出支援について

4月	町内雑めぐり・桜花見、チューリップ花見、鯉のぼり外出	10月	安来市総合文化祭に陶芸作品展示を見物外出 運動会 ホルンVo。
5月	つつじ花見外出	11月	紅葉狩り外出
6月	笹巻き作り あじさい花見	12月	クリスマス会
7月	七夕飾り	1月	新年会
8月	陶芸出品展示見物外出	2月	節分豆まき 白鳥見物
9月	デイサービス祭り 敬老会	3月	

<資料2>

研修参加状況

	介護職員	看護職員	生活相談員	管理者	合計
常勤職員	3	0	2	1	6
非常勤職員	1	1			2

* 主な研修内容

外部研修:認知症介護実践研修、生活相談員研修、新人職員研修会、老施協研究大会、レクリエーション研修
高齢者虐待防止研修、認知症講演会、糖尿病スタッフ研修会

内部研修:救命講習、復命研修

<資料3>

利用実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28平均	H27平均
H28延人数	517	540	517	529	498	492	533	507	497	427	435	523	501	536
平均利用者数	19.9	20.8	19.9	20.3	18.4	18.9	20.5	19.5	19.1	18.6	18.1	19.4	19.5	20.7
稼働率	73.65	76.92	73.65	75.36	68.31	70.09	75.93	72.22	70.8	68.44	67.13	71.74	72.02	76.46

資料① 能力開発目標研修参加報告

研修報告

	介護職員	看護職員	生活相談	管理者	合計
県内研修	8	2	2	2	14
県外研修	0	0	0	0	0

☆ 主な研修内容 認知症ケア研修・介護事故予防研修・リハビリテーション勉強会・新任職員研修等。

☆ 内部研修 復命研修・救命講習・食中毒予防研修等

資料② サービス目標資料

外出支援・地域交流

月	内容	月	内容
4月	お花見・雛祭り外出・芝桜見学	10月	紅葉狩り・望ヶ丘散策
5月	つつじ見学・比田小学校運動会交流	11月	紅葉狩り・望ヶ丘散策・比田小学校訪問
6月	紫陽花見学・	12月	クリスマス会
7月		1月	とんどさん・初詣
8月	七夕会	2月	
9月	交流会・敬老会・認定こども園交流会	3月	節分・比田小学校(1・2年生)交流会

※抹茶ボランティア 毎月1回(比田地区婦人会)

※大正琴ボランティア(6月、12月)

※絵手紙ボランティア(10月)

※比田社会福祉協議会会长夫妻(1月)訪問

※東西盆踊り全職員参加、比田小学校比田踊り講師として職員派遣

資料③ 業務目標

利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規利用 (H27年)	2	3	3	1	2	2	2	2	1	1		1	20
新規利用 (H28年)					3	1	4	1	3	1		2	15
延 이용자数	398	421	427	408	408	375	369	384	342	254	274	334	4394

※平均利用者数 14.2人 (平成27年度 16.5人) 平成28年度より地域密着型通所介護事業所となる

※稼働率 78.74% (平成27年度 66.13%)

利用者延人数 4394人 (平成27年度 5145人)

平成28年度 事業報告書

事業所名 比田デイサービスセンター

目標	事業計画	実施状況
重点目標	○ひとり一人の生活に沿い、残存機能を活かし在宅生活が継続できるサービスの提供に努める。	○4月より地域密型になり、利用定員18名となり今まで以上に個々に寄り添いながら、生活の中で工夫をして一人でも行えることや、方法を変える事など一緒に考え継続して行けるように、話・相談を受けながら維持できるように努めた。
サービス目標	○ひとり一人の残存機能を見極め、自宅でできる事を継続する。 ○認知症者、または認知症予防に向けてのケアの充実を図る。	○レクリエーション活動を通して、いろんな道具を使って体操を行なったり、考えたりを笑顔の中できるように工夫し楽しく行えるように努めた。また、ぬり絵を継続して行うことで塗り方の変化等で身体面の変化を見つけ出す材料にもなった。
能力開発目標	○研修計画に基づき全職員が参加できるようにする。 ○復命研修等により、全職員が知識習得、専門性を高める事で職員の資質向上を目指す。	○多くの研修に参加し、復命研修を行い知識習得に努めた。(資料①) ○内部研修では、毎年救命講習を行うことで緊急時の対応ができるようにした。
地域目標	○地元ボランティアの受け入れを積極的に受け入れる。 ○交流会を通して地域の方々や家族との交流を深め、また、認定こども園・小学校との交流を継続していく。 ○地域行事へ参加し交流を深める。(比田踊り参加・文化祭参加) ○運営推進会議を設置し、年2回開催する。	○抹茶ボランティア、大正琴等、地域のボランティアがあった。 ○「交流会」を9月4日(日)に実施した。今年多くの方々の来場があり、ゲームや余興等で楽しんでもらった。 ○認定こども園、比田小学校生徒との交流や地元の盆踊り(比田・東比田)の全職員で参加をした。また、文化祭には利用者の作品展示を行った。 ○運営推進会議を8月19日(金)、H29年2月17日(金)の2回実施した。(資料②)
業務目標	○一日平均16.5名の利用を目指す。 ○地域の身近な存在となるための工夫を行い、ケアマネージャー・家族との連携を図り、出来るだけ在宅で生活できるような関わりをしていく。	○今年度の平均利用は、14名と伸び悩んだ。入院・入所・事業所変更・死亡等で約30名からの利用がなくなり、新規での利用は半数にも至らなかった。年々高齢化は進み、独居・夫婦での生活等は冬季の生活に利用者減少の要因となった。(資料③) ○空席を利用いただくよう声掛けをケアマネージャーに行い、利用実績が上がるような努力を行った。

平成28年度 事業報告書

事業所名 広瀬デイサービス

目標	事業計画	実施状況
重点目標	①社会貢献 ②地域での自立した生活の継続支援	保育園や広瀬小学校へのプランターや雑巾寄贈を通して社会貢献に努めた。口腔機能向上活動を通して利用者自身の健康意識を高めることで健康維持、増進に努めた。
サービス目標	地域貢献	花を植えたプランター10鉢を広瀬保育園へ、手作り雑巾58枚を広瀬小学校に寄贈した。
	口腔機能アセスメントを行い、セルフマネージメントの自立に向けての支援	介護予防対象者に対して前年度実施した口腔機能向上運動を評価・考察し、新たなプログラムを追加し、実施した。
	利用者の社会性維持を図る。	地域貢献活動を通して地域とのつながりが実感できるよう支援した。
能力開発目標	外部研修	常勤職員、非常勤職員ともに外部研修に参加し、専門職としてのスキルを高めた。 * 別紙資料1参照
	内部研修	復命研修を中心に行い、全職員の質の向上に努めた。
	資格取得	なし
地域目標	クラブ活動 (地域ボランティアの開拓)	外部ボランティアの協力を得て、月1回以上クラブ活動を実施し、利用者の意欲向上に努めた。
	地域・家族交流会	広瀬デイサービス祭り 来場者 約200名
	地域交流・外出支援	* 別紙資料2参照
業務目標	1日平均24名 稼働率85%以上 キャンセル率月7%以下	1日平均利用者数23.2名(前年度22.4名) 平均稼働率85.9%(前年度83.0%) 平均キャンセル率6.3%(前年度8.2%) * 利用実績については別紙資料3参照

<資料1>

研修参加状況

	介護職員	看護職員	歯科衛生士	生活相談員	管理者	合計
常勤職員	4	1		2	2	9
非常勤職員	3	1	0			4

* 主な研修内容

リスクマネジメント研修、感染症・食中毒研修、身体拘束排除研修、生活相談員スキルアップ研修

在宅褥瘡セミナー、虐待防止研修、水害・土砂災害への備え研修他

<資料2>

地域交流、外出支援について

4月	桜花見、雛めぐり、チューリップ見物、鯉のぼり見物	10月	運動会
5月	鯉のぼり、つつじ見物	11月	紅葉狩り、広瀬小学校雑巾寄贈
6月	保育園交流、紫陽花見物、書道展出品	12月	保育園交流会、忘年会、しめ縄作り
7月	祇園祭り神輿見物、大正琴演奏会	1月	とんどさん、初詣、書道展出品
8月	七夕祭り	2月	白鳥見物
9月	敬老会、デイサービス祭り	3月	白鳥見物

* 川柳:山陰中央新報(年2回)投稿

<資料3>

利用実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28年度平均
H28延人数	574	626	626	639	636	591	610	596	637	527	520	613	599
平均利用者数	22.1	24.1	24.1	24.6	23.6	22.7	23.5	22.9	24.5	22.0	21.7	22.7	23.2
稼働率	81.9%	89.3%	89.3%	91.1%	87.4%	84.1%	87.0%	84.8%	90.7%	81.5%	80.4%	84.1%	85.9%

平成28年度 訪問介護事業報告(太陽ヘルパーステーション)

平成29年4月20日

項目	実施計画	実施状況
重点目標	残存能力に働きかけ に支援	・介護計画に沿い利用者の出来る事への尊重と継続を促し、出来難い部分と共に使う事で意欲向上に働き掛けた援助に努めた。
	信頼関係の確立	・会話時の傾聴や気持ちの変化を受容・観察を行い、家族の介護力増や負担軽減に繋がる提案や助言・意向も受け止め関係確立に努めた。
サービス目標	利用者尊重と接遇 ニーズに沿う満足感	・法人職員としての自覚と本人尊重の誠意と笑顔で訪問を行った。
	のあるサービス提供	・利用者・家族の意向や指摘を真摯に検討を重ね、サービス向上を目指したが、状況変化時の対応力不足の為、利用者側の意向に沿われず利用休止も有った。今後改善に努める。
能力開発目標	ヘルパー連絡会 外部研修	・毎週月曜12:30～定期に実施 10名参加 ・ヘルパー部会研修(介護食) 2名 ・ホームヘルパーサービス提供責任者課程 1名 ・高齢者虐待防止研修 1名
	能力開発目標	・県老施協研修(事例発表)大会 2名 ・苦情解決 1名 ・老施協安来園域合同研修 全員 ・復命研修(介護事故防止・スキンケア他) 全員 ・食中毒・感染症研修 全員 ・人権・認知症研修 全員
地域目標	民生委員・地域との 情報交換	・独居の利用者に関する民生委員・近隣者への協力をケアマネを通じ依頼し、訪問時以外の情報提供も有りサービスや在宅生活の安全確保に繋がった。
	利用者目標件数 月50件	・要介護者月平均44件(前年43件)目標不達成。延べ人数745人減。介護予防は137人と増。
業務目標	包括・居宅支援事業 所との連携	・施設系サービス利用傾向や入院、高齢世帯で在宅介護力低下で在宅生活利用者が減少状態であるが、在宅生活継続の為、利用者・家族・ケアマネの安心を得て利用依頼の出来る事業所として今後努力をする。

平成28年度 障がい者自立支援事業報告(太陽ヘルパーステーション)

平成28年4月20日

項目	実施計画	実施状況
重点目標	残存能力に働きかけた支援 信頼関係の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の出来難い所と共にを行い、出来る事を尊重・継続へ繋げ、依存の気持ちには都度訪問支援の意図を説明し自立を促して行った。 ・会話の機会・傾聴で気持ちの援助に努め、訪問を重ねる中で関係確立が出来て行けたが、精神障害の利用者との関係つくりには苦慮をした。
サービス目標	利用者尊重と接遇ニーズに沿う満足感のあるサービス提供	<ul style="list-style-type: none"> ・法人職員としての自覚と本人尊重の誠意と笑顔で訪問を行った。 ・利用者の意向に沿う様に共に考えて行き、相談支援員とも都度相談・検討を重ね、継続利用に繋がった。
能力開発目標	ヘルパー連絡会 外部研修 内部研修	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜12:30～定期に実施。10名参加。 ・障がい者(児)フォローアップ研修(精神疾患)1名 ・復命研修 ・精神障がい者への対応と具体的な支援方法
地域目標	地域・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況に応じ、福祉課や利用のある他支援事業書と連携をして支援の充実を図り、民生委員・近隣者へは相談支援員を通じて協力依頼を行った。
業務目標	利用者目標件数 月5件	<ul style="list-style-type: none"> ・月平均5名(前年5名)と目標件数となる。 ・新規利用依頼に精神障がい者の支援が増えて来た。 ・利用者の多様な状況に限り対応する為、事業所内カンファレンスや、相談支援員や市障がい者福祉課と担当者会議を重ね、継続利用に繋げる事が出来た。

平成28年度 利用実績表

☆訪問介護(介護保険)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	50	53	48	47	47	43	44	42	40	39	37	41	
延人数	496	512	512	453	479	443	417	441	422	371	383	430	5,359
身体介護	78	116	104	91	102	99	79	62	58	42	58	72	961
身体・生活 内訳	32	69	57	62	68	68	78	99	109	96	86	92	916
生活援助	299	232	255	207	214	186	162	183	160	150	150	156	2354
介護予防	87	95	96	93	95	90	98	97	95	83	89	110	1128

☆訪問介護(自立支援)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	5	5	5	6	6	6	5	5	5	4	4	4	
延人数	36	33	23	31	31	39	37	33	34	32	23	27	379

平成28年度 事業報告書

在宅介護支援センターひろせ

目 標	事 業 計 画	実 施 状 況												
重点目標	<p>①利用者、家族の抱える課題を的確に捉え個々の能力を最大限に活用できるケアマネジメントを行い生活能力の維持、向上に繋げる。</p> <p>②地域に信頼され親しまれる拠点を目指す。</p>	<p>◎支援の充実を図るためケース検討会やマネジメントの振り返りを行い、多角的なアセスメントの実践に努めた。</p> <p>◎サービス事業者や主治医、医療機関等との連携を図り共通認識のもとサービス提供できるよう心がけた。</p> <p>◎外部研修、内部研修のほかに自主参加の研修会に参加し自己研鑽に務めた。</p>												
サービス目標	①居宅介護支援事業	<p>◎プラン作成件数(居宅介護支援) … 年間1,581件(月平均131.7件)</p> <p>◎介護予防プラン作成件数 … 年間 430件(月平均 35.8件)</p> <p>◎訪問調査 … 年間 145件</p> <p>* 前年と比較し介護給付で延べ63件の増加、予防給付で延べ36件の減少であった。</p>												
	②総合相談支援業務(安来市地域包括支援センター委託事業)	<p>◎総合相談支援事業…延べ97件の相談があった。 * 実務報告書参照</p> <p>◎携帯電話による24時間体制を行い、地域包括支援センターとの連携を図った。</p> <p>◎地域ケア会議の開催…11月に介護支援専門員の実践力向上と地域支援ネットワークの構築、地域課題解決を目的に、個別ケース検討会議を行った。(参加者34名)</p>												
	③地域支援事業、家族介護者教室受託事業等	<p>◎介護者教室…西比田交流センター つどいの里ひろせにおいて「いつまでも元気で自分らしくあるために」をテーマとして開催した。健康医学講座として言語聴覚師を招き「口から始める介護予防」についての講演のほか、意見交換、介護相談、事業所PRなどを行った。 2会場で30名の参加があった。</p>												
能力開発目標	<p>①自己啓発、マネジメント能力の向上</p> <p>②コミュニケーション能力の向上</p> <p>③医療知識、専門知識の向上</p> <p>④事例検討会の開催</p>	<p><主な研修内容></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎地域リハビリ勉強会</td> <td style="width: 50%;">◎地域ケア推進会議</td> </tr> <tr> <td>◎高齢者虐待防止対策協議会</td> <td>◎業務改善検討会 個別事例検討</td> </tr> <tr> <td>◎島根県ケアマネ研究大会</td> <td>◎認知症研修会</td> </tr> <tr> <td>◎高齢者虐待防止研修会</td> <td>◎認定調査員現任研修会</td> </tr> <tr> <td>◎介護支援専門員専門研修</td> <td>◎歯科医師、医師との研修会、意見交換会</td> </tr> <tr> <td>◎主任介護支援専門員研修</td> <td></td> </tr> </table>	◎地域リハビリ勉強会	◎地域ケア推進会議	◎高齢者虐待防止対策協議会	◎業務改善検討会 個別事例検討	◎島根県ケアマネ研究大会	◎認知症研修会	◎高齢者虐待防止研修会	◎認定調査員現任研修会	◎介護支援専門員専門研修	◎歯科医師、医師との研修会、意見交換会	◎主任介護支援専門員研修	
◎地域リハビリ勉強会	◎地域ケア推進会議													
◎高齢者虐待防止対策協議会	◎業務改善検討会 個別事例検討													
◎島根県ケアマネ研究大会	◎認知症研修会													
◎高齢者虐待防止研修会	◎認定調査員現任研修会													
◎介護支援専門員専門研修	◎歯科医師、医師との研修会、意見交換会													
◎主任介護支援専門員研修														
地域目標	<p>①地域に信頼される拠点を目指す</p> <p>②地域の実態把握</p> <p>③介護者教室の開催</p>	<p>◎地域から信頼され親しみの持てる窓口業務ができるよう環境整備や接遇面の向上に努めた。</p> <p>◎広瀬地区シルバー運動会のボランティアに参加した。</p> <p>◎介護者教室の内容は上記参照</p> <p>◎安来市社会福祉法人連絡会の公益的事業の取り組みとして「ふくし何でも相談会」で相談を受けると共に、障がいや社会福祉協議会との情報共有ができた。</p>												
業務目標	<p>①介護給付 月130件</p> <p>②予防給付 月35件</p>	<p>①介護給付は月平均131.7件であった。(前年 平均126.5件)</p> <p>②予防給付は月平均35.8件であった。(前年 平均38.8件)</p> <p>地域包括支援センターとの連携を図り、中重度者や困難ケースへの積極的な対応を行っていく。</p>												

平成28年度 総合相談支援事業実績報告書(年度集計分)

事業所名 在宅介護支援センターひろせ

I. 相談方法(延べ数)

	延べ数
1 電話	46
2 来所	18
3 訪問	33
計	97

II. 相談人数

	計
1 実人数	69
内、介護認定を受けていない人	20
2 延べ人数	97
内、介護認定を受けていない人	27

IV. 相談内容／件数(※重複あり)

① 介護保険その他の保健福祉サービスに関すること

	延べ数		延べ数
1 介護の仕方に関すること	0	7 受診介助に関すること	0
2 介護保険制度に関すること	14	8 住宅改修に関すること	12
3 介護用品に関すること	0	内 a) 自宅に訪問した件数	8
4 福祉用具に関すること	25	b) 住宅改修件数	7
5 施設入所に関すること	4	9 認知症	1
6 介護保険サービス利用に関すること	65	10 その他(上記以外のもの)	10
		計	121

② 権利擁護に関すること

	延べ数		延べ数
1 成年後見制度に関すること	0	5の内記	5
2 老人福祉施設等への措置に関すること	0	a) 身体的虐待	2
3 困難事例に関すること	1	b) 性的虐待	2
4 消費者被害に関すること	0	c) 心理的虐待	0
5 高齢者虐待に関すること	0	d) ネグレクト	0
	6	e) 金銭的虐待	0
	計	その他(上記以外のもの)	0
	1		

V. 年齢別件数

	実人数
1 ~64歳まで	2
2 65~74歳まで	3
3 75~84歳まで	29
4 85歳~	35

VI. 校区別件数

	実人数
一中校区	1
二中校区	0
三中校区	1
広瀬中校区	64
伯太中校区	0
その他	3

VII. 訪問による実態(状況)把握件数

	実人数
1 ひとり暮らし世帯	3
2 高齢者世帯	10
計	13

III. 相談経路別区分

	経路	実人数
本人		5
家族・親族		40
ケアマネージャー		0
行政		0
医療機関		11
民生児童委員		0
包括支援センター		23
近隣住民・知人		0
警察		0
介護事業所		0
その他関係機関		0
計		79

平成28年度 事業報告書

グループホームなごみ

目標	事業計画	実施状況
重点目標	①さり気ない支援で安心して暮らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り、介助を必要とされる方が多くなった。なごみの理念のもと、ユニットごとの目標を設定し、個人のケアや情報の共有化を行った。 ・認知症という病気のため、支援が必要になったということを考えながら、入居者の皆様の視点にたち安全・安心して暮らしていただけるように支援した。
サービス目標	①入居者の能力に応じ自立した生活を支援する。 ②介護者主觀による介護者の満足のための支援ではなく、本人主体の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望や家族との情報交換を行いながら、自分らしい生活が出来るよう支援した。 ・全員での遠足、買い物、外食など個人の能力に応じた外出を支援した。 ・個人のケアポイント、毎月のモニタリングをカンファレンスにて状況をスタッフ全員で把握し共有化し支援につなげた。
能力開発目標	①職員の資質向上・資格取得を目指す。 ②研修を通じて専門性の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症リーダー研修に1名参加し、リーダーの心構え、スタッフとの情報の共有化など全員で実習に参加し勉強会を開いた。 ・内部研修にて高齢者虐待・人権などの復命研修を行い、コンプライアンスの大切さを勉強した。 ・外部研修は人員がそろわない時期もあり、なかなか参加できなかった。
地域目標	①季節ごとの外出 ②ボランティアの受け入れ ③幼稚園との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・祇園さん・恵比寿さん・ひな祭りなど町内の行事に出かけ地域の方との交流を行った。 ・定期的に民生委員さん・抹茶ボラさんなど来所していただいた。 ・自治会の夏祭りへの参加し、「なごみ綿菓子屋」を日頃の感謝をこめて行った。 ・年2回の家族会を開催し、意見交換を行った。 ・事業所内行事や外出については別紙
業務目標	①さり気ない支援を行なながら、安全な生活環境を作る。 ②地域に向けた「認知症カフェ」の開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行能力の低下に伴い、転倒事故が多くなった。アクシデントレポートの提出と検討会を行い、予防にも努めていたが残念な結果になった。4月1名、3月に2名骨折入院。(4週間程度) ・認知症カフェ「なごみカフェ」を5月から継続した。(別紙) ・広瀬地区を中心に毎月楽しみに参加していただいた方もいた。参加人数も増えた。 参加者のばらつきもあり、来年度からは認知症 & 予防カフェとして行うこととした。 (民生委員・当事者・家族・興味のある方など。60代から90代)

・利用者の外出一覧・地域との交流行事

月	内 容		
4月	ひな祭り見学・花見(桜)・チューリップ見学		
5月	昼食バイキング・そば打ち		
6月	笹巻き		
7月	祇園祭・避難訓練		
8月	栄町夏祭り		
9月	敬老会(家族会8名))		
10月	事業所内収穫祭・遠足(全員参加・由志園)		
11月	避難訓練・防災パレード(こども園)		
12月	民生委員さんとのクリスマス会・もちつき		
1月	とんじさん・ドーナツバイキング・すきやきパーティ		
2月	おやつバイキング・昼食バイキング		
3月	ひな祭り会(家族会6名)温泉入浴(6名)		

毎月1回民生委員のボランティアさん来所
抹茶ボランティア(月1回)・お話ボランティア(週1回)
誕生会・食事バイキング・フルーツバイキング
外出支援(日吉津イオン・ラーメン・喫茶店など)
ハンドマッサージ(不定期)

・研修報告

	介護職員	管理者	合計
県内研修	8	1	9

* 主な外部研修

- ・認知症リーダー研修
- ・認知症講演会
- ・高齢者虐待研修
- ・人権研修
- ・コンプライアンスについて

・退所者数

なし

・認知症力フェ参加者数

5月	5名
6月	15名
7月	11名
8月	12名
9月	12名
10月	12名
11月	13名
12月	17名
1月	10名
2月	12名
3月	10名

平成28年度 事業報告書

事業所名 ひだ介護支援室

目標	事業計画	実施状況
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が抱える課題を的確に捉え、個々の能力を最大限に活用できるケアマネジメントを行う。また、利用者主体のケアプランを作成することで、生活機能の向上や介護予防に努める。 高齢者世帯や一人暮らしの方が安心して住み慣れた所で生活できるよう、地域や各サービス提供機関と連携を図る。 専門研修の他に、他団体主催の研修にも積極的に参加し、自己研鑽に 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員、地域住民、包括支援センター、行政と連携をとりながら一人暮らし・高齢者世帯の支援を行った。 地域ケア会議等、地域に密着した会議や研修会に積極的に参加した。又、各機関との情報交換等を行い、サービス提供の現状把握や振り返りを行った。 在宅介護支援センターひろせとの居宅会議を開催し、支援においての共通認識や理解を深めることに繋げた。
サービス目標	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の能力や機能を十分に生かし、意欲向上につながるようなケアプラン作成に努める。 主治医、サービス提供機関、包括支援センターとの連携を密にし、地域に根付いた支援を行う。 介護支援専門員としてのプロ意識を高め、利用者・家族との信頼関係を築く。 地域ケア会議での事例検討を通じ、多職種協働によるケアマネジメントを行う。 利用者からの相談時、迅速丁寧な対応と正確な情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族の想いをできるだけ引き出し、細やかな対応ができるようアセスメントに力を入れた。 入院中の利用者については積極的にカンファレンスに参加し、病院やサービス事業所との連携を図り、情報を共有しながら退院調整や在宅支援に繋げることができた。 包括支援センターと協力しながら困難ケースの対応を行った。 地域ケア会議において事例提供を行い、他職種での意見交換や課題解決に向けて検討することができた。
能力開発目標	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集、課題分析能力を高め、ケアプラン作成能力の向上を図る。 コミュニケーション能力や関連機関との調整能力の向上を図る。 医療など他分野の専門知識の向上を図る。 	<p>主な研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員研修 虐待、人権に関する研修 介護保険制度に関する研修 接遇研修 認知症ケア研修 介護、医療に関する研修
地域目標	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に相談できる窓口として、親しみやすさと信頼が得られる場つくりを行う。 積極的に地域に出かけ、民生委員、駐在所などとの連携により、一人暮らしや高齢者世帯の生活状況や地域課題の把握に努める。 地域包括ケアシステムの構築を見据え、地域資源やボランティア活動状況を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅介護支援センターと協力し、介護者教室を比田にて開催し、日々介護をしている家族に対し相談助言を行うことができた。 比田デイサービス祭りに参加し、介護相談ブースを設置したり、来客者参加型の脳トレゲームを行った。
業務目標	<ul style="list-style-type: none"> 介護給付 月70件以上 予防給付 月10件 	<ul style="list-style-type: none"> 介護給付…年間延べ790件、月平均67件(前年度延べ844件、月平均70件) 予防給付…年間延べ116件、月平均10件(前年度延べ214件、月平均18件) 年間の新規依頼数 25件(前年度30件) 認定調査数…年間延べ87件、月平均7件(前年度延べ94件、月平均8件) <p>前年度と比べ、年間介護給付は51件減、予防給付は98件減、認定調査は7件減であった。 介護・予防ともに目標件数に達しなかった。</p> <p>※要支援(予防給付)利用者について、本来の受け持ち機関である包括支援センターへ担当を変わることで、介護給付の受け入れ枠を広げたが、新規依頼が少なかつたり、死亡や施設入所が原因で実績が伸びなかった。</p>

平成28年度 利用者実績表

ひだ介護支援室

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
介護ケアプラン数	70	73	67	68	64	64	65	63	65	66	62	63	790	67
予防ケアプラン数	10	9	9	9	10	11	11	11	11	10	7	8	116	10
認定調査数	6	9	9	8	4	5	4	8	6	8	9	11	87	7
新規	4	5		2			3	2	4	2	2	1	25	